



慶應義塾大学グローバルCOEプログラム

論理と感性の先端的教育研究拠点

慶應義塾大学 CARLS 哲学・文化人類学グループ 医学史研究会 合同シンポジウム

医療人類学の最前線Ⅴ

統合失調症、人種、公民権運動：精神病をめぐる文化の政治学

～Jonathan Metzl先生をお迎えして～

日時：2012年1月26日（木）12:30～14:00

場所：慶應義塾大学三田キャンパス 大学院棟 346 教室

- 東京都港区三田2-45-45
- JR線田町駅、都営地下鉄三田線・浅草線三田駅、もしくは都営地下鉄大江戸線赤羽橋駅より徒歩10分
- <<http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>>（キャンパスマップ、9番の建物の4階です）

Liberation Psychosis: DSM Terminology and Political Activism during the American Civil-Rights Era

Jonathan Metzl, MD, PhD

Frederick B. Rentschler II Professor of Sociology and Medicine, Health, and Society,
Director, Program in Medicine, Health, and Society,
Professor of Psychiatry,
Vanderbilt University

コメンテーター：鈴木 晃仁（慶應義塾大学：医療史）

司会：北中 淳子（慶應義塾大学：医療人類学）

使用言語 英語

参加無料 事前登録の必要はありません

主催・企画：慶應義塾大学 CARLS 哲学・文化人類学チーム・医学史研究会 <<http://www.carls.keio.ac.jp/>>

お問い合わせ先：濱 雄亮（慶應義塾大学文学部非常勤講師）<yusukehama@a6.keio.jp>

Centre for Advanced Research
on Logic and Sensibility